amana

平成25年8月8日

各　位

東京都品川区東品川二丁目2番43号
株式会社アマナホールディングス
代表取締役社長　　進藤 博信
（証券コード：2402　　東証マザーズ）
問合せ先　取締役管理部門担当　田中和人
TEL：03-3740-3500
e-mail：ir@amana.jp

平成25年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年2月15日に公表いたしました平成25年12月期第2四半期連結業績予想と実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成25年2月15日に公表いたしました、平成25年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1．平成25年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

	売上高（百万円）	営業利益又は営業損失（百万円）	経常利益（百万円）	四半期純利益又は四半期純損失（百万円）	1株当たり四半期純利益又は四半期純損失（円）
前回発表予想（A）	9,000	190	130	60	12.07
今回発表実績（B）	8,853	△45	△94	△157	△31.64
増減額（B－A）	△146	△235	△224	△217	
増減率（%）	△1.6%	△123.9%	△172.7%	△362.2%	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年12月期第2四半期）	8,223	200	158	32	6.46

2. 平成25年12月期通期連結業績予想の修正（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

	売上高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	当期純利益 （百万円）	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（Ａ）	18,200	400	300	150	30.16
今回発表実績（Ｂ）	18,200	200	80	5	1.01
増減額（Ｂ－Ａ）	0	△200	△220	△145	
増減率（％）	0.0%	△50.0%	△73.3%	△96.7%	
（ご参考）前期実績 （平成24年12月期）	16,575	186	123	3	0.79

3. 差異及び修正の理由

（差異の理由）

当第2四半期連結累計期間における売上高は、当初予想数値を140百万円下回る結果となりました。これは、主としてビジュアル・コミュニケーション事業における電子カタログの営業体制整備の遅延等によるものです。また、ビジュアル・コミュニケーション事業の売上商品構成が変化し、外注比率の高い動画（TVCM、映像制作）案件の売上が伸張したこと等により、外注コストが240百万円増加しました。売上高未達、及び外注コスト増加により、利益面においては、営業利益、経常利益、四半期純利益は、当初予想数値を各々235百万円、224百万円、217百万円押し下げる結果となりました。

（修正の理由）

現在、当社グループでは、中期経営計画を策定し、ビジュアルの消費拡大に向けた積極的なマーケット戦略を展開しております。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗と外部環境等を勘案した結果、平成25年12月期通期連結業績予想を修正いたしました。

売上高につきましては、当初予想を達成できると考えております。ストックフォト事業においては、ストックフォト以外の売上高が順調に推移し、ビジュアル・コミュニケーション事業においては、アジア地域の活動本格化、国内のスマートデバイス普及など環境が整い、成長を続けるものと考えております。

利益面においては、エンタテインメント映像事業の海外制作拠点の本格稼動による効率化が寄与するものと考えております。しかしながら、ビジュアル・コミュニケーション事業の動画（映像制作）案件売上の増加傾向は続くと予想しており、購買管理体制を強化しコスト抑制に注力いたしますが、上期の減少分を取り戻すには至らないと予想しております。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上